

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
<b>I. 理念・安心と安全に基づく運営</b>							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営理念、企業理念を各フロアに掲示。いつでも目が届くことで日常のサービス実践へとつなげるよう心掛けている			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域と繋がりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自治会行事への参加はほとんど行えていないが、地域の薬局主催の歌声サロンにはオンラインにて定期的に参加している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議に自治会長の出席を願い意見を聞いている。</li> <li>・歌声サロンへの参加ありがとうございます。コロナやインフルエンザのこともあるので行事への参加は大変だと思います。</li> <li>・コロナ禍で制限のある中でも出来る形で工夫しながら継続されていると思う。</li> <li>・ここ数年はコロナで地域との交流は難しかったと思います。</li> <li>・インフルエンザや新型コロナウイルス感染症の兼ね合いもあり、現状積極的に地域の出て行くことは難しい状態である。が、感染症対策を行いながら交流出来る場所に参加して欲しい。</li> </ul>		昨年に引き続き歌声サロン以外での地域との関りはまだ少ない。もう少し地域との繋がりを増やしていくことが今後の課題。小学校で行われるイベントなど見に行けたらと思う。コロナなどの感染症に注意しながら安全に地域と交流できる機会を積極的に取り入れられるように努めていきたい。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2ヶ月ごとに運営推進会議を開催。運営状況、活動報告、身体拘束の状況報告等を行い、高齢介護課、地域包括、地域の薬局、自治会長様、家族様からのご意見をいただきサービス向上に役立てている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議の議事録を家族にも配布し意見を反映させている。</li> <li>・2か月に1回きっちり開催されていて、しっかりと取り組まれていると思います</li> <li>・毎回複数名の利用者の家族が参加され、家族の要望や意向がサービスに反映されていると思います。</li> <li>・現状をありのままに運営推進会議で報告いただき、改善点を参加者全員で検討し、改善策を工夫する取り組みをして頂いている。これからも継続してより良い施設となるよう取り組みを続けて欲しい。</li> </ul>		2か月ごとの開催を継続し、現状を報告し続けることで開かれた施設を目指していきたい。困り事や問題点などを出席者と一緒に考えて、改善に向けて取り組んで入ることに対し良い評価を頂いている。今後も維持しながらサービスの向上に活かせられるよう努力したい。

4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	高齢介護課や地域包括支援センターには運営推進会議にて報告している。他にも分からない事、困り事などの相談もしており、助言など頂いている	・行政からのアドバイスに傾聴し、運営に活かしている。 ・会議にも市役所職員や地域包括支援センターの職員も参加していただいております。連携はしっかりと取れていると思う。 ・人員配置等の基準の解釈をお伝えしたりケアの悩みを聞かせていただくなど行政としても関係性の構築に努めている。 ・今後も高齢介護課や地域包括支援センターと積極的に連携を取ることで施設内で抱え込むことが無いようにしてほしい。		ご家族との関係や対応に悩んでいる時には助言を頂き、経過もフォローして下さりとても心強い存在である。運営基準に関する問い合わせにもすぐ対応して頂いている。会議で頂いたご意見にもあるように、施設だけで抱え込むことが無いよう、行政と定期的に連絡をとりながら協力体制を築いて相談しやすい関係性を維持したい
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	Ⓐ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各ユニットに身体拘束委員を設置し、定期的にセンサーの必要性など見直している。安全の為玄関は施錠しているが不穩時には外出に付き添うよう拘束しない対応を取り込んでいる。		Ⓐ 十分にできている (5名) B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年間事業計画書に研修や委員会を入れており今後は定期的実施するよう努める。入浴時、更衣時には身体の観察を行い虐待の早期発見に務めている。		Ⓐ 十分にできている (2名) Ⓑ ほぼできている (3名) C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	後見人制度を活用されている方はいるが、全職員が制度を理解しているとは言い難い。今後学ぶ機会を定期的に作る必要がある			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	Ⓐ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約書、重要事項説明書などは主に家族様に不安の無いよう十分な説明、理解、納得を頂いている。改正の際にもその都度説明を行っている。			

9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	面会時や運営推進会議でご家族様の要望をお聞きし、各ユニットリーダー、管理者とで話し合い運営に反映出来るよう努めている		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている (3名) <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている (2名) <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	定期的に会長・社長との会議があり現場の職員が意見を発言出来る場がある。管理者は日頃のコミュニケーション以外にも必要時は個別に意見や悩みを聞く機会を設けている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	業務週報にて各職員の勤務内容や振り返りを把握している。改善が必要なら環境整備に向けて整備に努めている。処遇改善加算を給与に反映させている		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている (1名) <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている (4名) <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員の知識、技術向上の為、研修へ参加する機会を確保している。また、能力に応じて個別で指導したり、周りがフォローすることで技術の向上にも努めている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている (1名) <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている (4名) <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	年数回だがグループホーム協議会にて市内の他施設との意見交換や交流の場がある。また同系列のグループホームとは必要時にすぐ連絡を取れる体制である			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者様と一緒に体操やレクリエーション、家事やおやつ作りなどを共に行うことで穏やかな生活が送れるよう支援したり、良好な関係が築けるよう努めている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	家族様や親戚の方、ご友人などが面会に来られたり、一緒に散歩にも行かれる。また、電話や年賀状を頂くこともある	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族や親族が訪問した際、気軽に面会できる。</li> <li>・様々な状況の中、出来るだけ面会が出来るよう努力されていると思います。</li> </ul>		コロナが5類になってからは面会方法を緩和している。遠方からの面会者からは面会時間が短いことへの不満も聞かれていた。今はご家族や親戚の方だけでなく、近所の方や元

					<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染リスクを減らした環境でご家族の面会の要望に応えられていると思う</li> <li>・元気なひ孫たちが来た時もあたたかく迎えてくださり助かります。</li> <li>・感染症対策を行いながら、馴染みの方との対面面会が出来る工夫を行い、今後も本人のQOLの向上に努めて欲しい。</li> </ul>		<p>仕事仲間、習い事の先生などとも面会して頂いており、懐かしい時間を過ごして頂いている。引き続き感染症対策を取りながら、入居者様の心の安定、QOLの向上を図れるよう努めていきたい。</p>
--	--	--	--	--	---	--	---

## II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者様それぞれの暮らしの希望を聞いたり、日々の生活の中から思いを汲み取り、又は家族様からの意見を踏まえて、意向に沿った支援を行っている			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者様、家族様の意向を尊重しながら職員からの情報も元に介護計画を作成している。医療的ケアが必要な方には主治医や看護師、歯科医師の意見を反映させている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じ専門家に相談し対応している。</li> <li>・家族の方もしっかりコミュニケーションをとり、意向を確認されていると思います</li> <li>・面会時に母の状況を知らせてもらっています。</li> <li>・本人家族からの聞き取りを行いながら、専門職としてのアセスメントを行い、より良い支援が出来るように多職種連携を続けて欲しい。</li> </ul>	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている (5名) <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	アセスメントの度にご家族の意向を確認したりご本人の意向をくみ取り、またターミナルケアでは主治医、ご家族、ホームとのカンファレンスを実施。その時その時に必要なケアプランを作成している。今後もご家族、主治医とのコミュニケーションをしっかりと取りながらより良い支援へと繋げていきたい。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日々の様子、プランに沿ったケアの実践、工夫した内容などを個別に記録している。サービス担当者会議や申し送りノート、連絡網を活用し、職員間での情報を共有、実践し介護計画の見直しに活かしている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている (5名) <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	

19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の申し送りにて状況の変化や問題点を把握し、情報共有に努めている。対応可能な場合は柔軟に対応し、サービスの多機能化に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定型化されたサービスの他、臨機応変の対応がとれている。</li> <li>・家族の方からの要望にも柔軟に対応されていると思います。</li> <li>・具体的な事例を教えてください。</li> <li>・面会時に母の状況を知らせてもらっています。</li> <li>・本人の希望に沿いながら、専門職としてのアセスメントを行い、できないという視点でなく、どうすれば本人のニーズに添うことができるのか、常に考え取り組みを続けて欲しい。</li> </ul>		普段は作成されたプランに添ってケアを実施しているが、その時ご本人の想いや体調に応じたケアに切り替えたり柔軟な対応も実施している。日常の変化に対応できる為にも観察、情報共有、申し送りをきちんと実施していけるよう心掛けていく。
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	去年とは違い散歩や家族様との買い物等の外出の機会があるがまだ少ない方である。今後はもう少し増やしていきたい。地域の薬局主催の歌声サロンにはオンラインにて参加している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元薬局主催の歌声サロン参加は地域資源との協働と云える。</li> <li>・感染症のこともあるので地域に出る行くのは大変だと思います。</li> <li>・ボランティアの受け入れ状況についてお聞かせください。</li> <li>・面会時に散歩もいいかと思っています</li> <li>・コロナ禍でも、地域とのつながりを大切にして、本人が充実した生活を送れるよう楽しめるような支援を続けて欲しい。</li> </ul>		以前は車イスの修理やアコーディオン演奏などのボランティアがあった。コロナになりアコーディオンは利用しなくなったが再開したいと思っている。歌声サロンもあるので今後は演奏以外のボランティアの受け入れをしていきたい。施設として望むボランティアを社協に相談、希望を出して行く事を包括よりアドバイス受ける。畑作業などを入居者と一緒してもらえると良いなと思っている。家族様からも喜んでもらえるとの声あり。今年度には実現出来るよう検討したい。
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. ①十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居後も在宅時の主治医に引き続き往診をして頂き、緊急時には職員も受診の付き添いを行っている。協力歯科医師による年1回の健診や、希望者には歯科衛生士による口腔指導も受けられる			

22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時は安心して治療が受けられるよう、主治医やホームより情報を提供している。病院から入院中の状況など説明してもらえないこともあるが出来る限り病院と連絡を取り合い、スムーズに退院出来るよう支援している		A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている (4名) C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時に重度化した場合の方針を説明し、終末期の可能性が出てきた場合にも家族様に意向を聞き、ホームで出来ることを改めて説明をしている。主治医、家族様、ホームとカンファレンスを行い連携をとりながら支援している		A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている (4名) C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	急変時、事故発生時に備えて応急処置マニュアルを作成しているが、定期的な訓練は行っていない。看護師による勉強会を行い実践力を身に付ける必要あり			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	火災訓練は実施出来ているが、地震、水害訓練は実施出来ない。地域との協力体制は築けていない。ご飯、汁物、水などの備蓄品は置いている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な災害に対処出来るよう訓練を積み重ねて欲しい。</li> <li>・地震は起こる可能性があるので、実施出来れば良いと思います。</li> <li>・BCPの定期的な見直しや職員間での共有をお願いします。</li> <li>・訓練は大切だと思います。</li> <li>・自宅にいる方でも発災すればパニックになる。認知症がある方は更に対応が難しくなる。日頃の積み重ねが、災害時の大きな力となって身を守ることになるため訓練の積み重ねが必要だと思われる。</li> </ul>	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない (4名) D. ほとんどできていない	年2回の火災訓練(うち1回は夜間設定)は引き続きしっかりと実施していき、焦らず行動出来るよう身に付けていきたい。今後は未実施の地震の訓練を早急に取り入れていかなければならない。そのためにもBCPをしっかりと見直していきたい。

### Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様の人格を尊重し丁寧な言葉使いを心掛けている。気になる時は個別や研修にて指導している。トイレ、入浴時には羞恥心に配慮しながら介助している。		A. 充分にできている B. ほぼできている (5名) C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出来るだけ本人のペースを尊重し穏やかに過ごして頂いている。利用者様の好みに合わせたレク活動や皆で楽しめるレク活動を提供しながら支援している			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ流行以降、野菜切りや盛り付けは一緒に行っていないが、台拭きや下膳など出来る方には手伝って頂いている。食事中ゆっくりと楽しく食べられるよう会話など工夫している		A. 充分にできている B. ②ほぼできている (3名) C. ③あまりできていない (2名) D. ほとんどできていない	
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ②ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事形態は咀嚼、嚥下能力に合わせて刻み、ミキサー食、トロミを使用している。療養手帳に食事摂取量を記載し管理している。水分の入りが悪い方には特に注意して摂取を促している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ②ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食後は口腔ケアを実施している。必要な方には介助し、自分で出来る方には見守りにて実施して頂き、残存能力を活用している。義歯、コップも定期的に消毒している		A. 充分にできている B. ②ほぼできている (5名) C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ②ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的な誘導の他、落ち着かれない時など、必要に応じて声掛けや誘導を行っている。排泄の有無も職員間で共有して次の誘導のタイミングを把握しながら失禁を減らせるよう支援している		①A. 充分にできている (1名) B. ②ほぼできている (4名) C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	3日ごとに入浴支援をしているが拒否や体調、体力に応じて個々のペースでの入浴回数で支援している。必要に応じて足浴、清拭対応も行っている。季節によりゆず湯や菖蒲湯も楽しんで頂いている			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食後は年齢や体調に応じ、居室やリビングカウチにて休んで頂いている。 寝具の洗濯、空調管理を行い良眠して頂けるよう環境の整備をしている			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人ファイルに薬表を保管しすぐ確認できるようにしている。臨時薬、変更時は薬表に付箋を貼り皆が把握できるよう工夫している。体調の変化があれば看護師や主治医に報告している。		A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている (5名) C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家事を一緒にして頂いたり、塗り絵や編み物、工作、卓球、散歩など日中が活動的に過ごせるよう楽しい時間を提供している。主に居室で過ごされている方には音楽をかけたり訪室時にはこまめに声掛けを心掛けている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節の催しなど折にふれて工夫した楽しさを提供している。</li> <li>・イベントを大事にされていると思います。</li> <li>・1階に来られた利用者とは短時間お話しさせていただいた際、穏やかに過ごされている様子うかがえました。</li> <li>・職員さんからの声掛けが大きいと思います。</li> <li>・日中活動の工夫を行い、施設の中においても刺激的な生活を送ることが出来る工夫を続け、ADLに合わせた余暇活動への参加の工夫を続けて欲しい。</li> </ul>		コロナ以降ほぼ調理は実施して頂いておらず洗濯物畳みは貴重な役割のため支援を継続していきたい。個別レクも人手があればどんどん取り入れていけるよう努めたい。1階は特に耳の遠い方が多く、日々の声掛けが大きくなってしまふ。家族からは声の大きい人が多いと言われたこともある。今後はただ大きく話すのではなく一人一人に合わせた大きさで対応出来るよう注意しながら努力していきたい。



36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	気候が良く、時間に余裕がある時は散歩に行っているが頻度はまだ少なく今後増やしていきたい。家族様との外出、散歩は楽しんで頂いている。	・人手が掛ることなので大変だと思うが、散歩など外出の機会を作って欲しい。 ・人員を増やさないと散歩など外出はなかなか増やせないと思います。 ・コロナ禍で外出支援が減少した中、5類に移行し外出への制限も緩和されている。職員体制もあり希望通りに実施することが難しい状態ではあるが、感染症の流行状態を確認しながら、地域や家族と協力しながら外出の機会を増やす取り組みを続けて欲しい。 ・暖かくなったら面会時に散歩もいいかと思っています。		散歩などの外出介助は大事な支援と思っている。人手が足りない中で出来る事を考えたり、余裕がある時は積極的に散歩や庭での外気浴等が出来るようこれから力を入れていきたい。 また、コロナ対策を取りながら、以前の様に花見や紅葉狩りなどの外出行事も実現できるように努めていきたい。
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	基本はお金の所持はして頂いてないが、本人が希望された場合は家族様に了解を得て所持して頂いている。外でお金を使う機会は無い。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人の携帯電話で家族様やご友人と話しされたり、利用者様からの架電の要望や家族様からの電話があれば取り次いでいる。手紙を書く機会はあまりないため少しでも機会を増やしていきたい			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共用の場所や動線には弊害となる物は置かないようにしている。季節に合わせた装飾や利用者様の作品、行事の写真等を飾り、季節を感じたり、見ていて楽しい空間作りを行っている。快適な温度保持のため換気や空調管理に配慮している。		A. 十分にできている (5名) B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の関わりの中で利用者様の思いや願いを把握している。その情報を職員間で共用し、出来るだけ思いに沿えるよう支援している			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時のアセスメント、ご本人、家族様からの情報もとに、日々のケアに役立てている。また、習慣やこだわりを継続できるよう支援している。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日のバイタルチェック、看護師による定期的な健康観察や主治医の往診治療により安全な生活が送れるよう支援している。安全な環境整備にも努めている		A. 十分にできている (5名) B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ある程度はホームでの1日の生活リズムがあるが、習慣や体調、その時の気分に合わせた個々のペースで過ごして頂けるよう支援している			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自宅で使用されていた食器類や趣味の物、絵や写真などお持ち頂き、馴染みあるものに囲まれて生活して頂けるよう支援している		A. 十分にできている (5名) B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ流行以降は積極的な外出は実施していないが、ホーム内での季節に応じた行事に参加して頂いている。利用者様の希望ではないが家族様の希望にて外出もして頂いている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホーム内での行事に参加し楽しませてくれている。</li> <li>・感染症のこともあるので希望通りにはいかないことも多々あると思います。</li> <li>・季節の作品や写真の掲示から季節行事を工夫されている様子がうかがえます</li> <li>・季節の行事には楽しく参加していると思います。</li> <li>・コロナ禍で外出支援が減少した中、職員体制もあり希望通りに実施することが難しい状態ではあるが、本人の生活が充</li> </ul>		あまり面会に来られないご家族も多いため行事で楽しまれている様子などを写真に収めて、家族に見て頂けるよう今後も継続していく。 外出支援を徐々に増やしながらも施設内での季節ごとの楽しみも変わらず力を入れて実施していきたい。

					実できるよう、施設内で季節感を感じる ことができるなどの工夫を続けて欲しい。		
46	本人が持つ力の 活用	本人は、自分ができること・できない こと、わかること・わからないことを踏 まえた、役割や、楽しみごとを行うこと ができています	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各々の能力に合った役割を持っ て頂いたり、集中出来る事やお好 きなレク活動に参加して頂くこと で楽しく過ごせるよう支援してい る			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会 話のひと時や、活動場面を日々の暮 らしの中で得ることができている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様同士の会話が楽しめる よう配席を工夫したり、職員が話 題を提供して利用者様が生き生 きと話されるように支援している。 家事やレク活動に参加して頂くこ とで、日々の活動場面も得る事が 出来ている		A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている (5名) C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の 人々に関わったり、交流することがで きている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない Ⓓ ほとんどできていない	歌声サロンにて地域の薬局との 交流はあるが、外出機会が少な いためそれ以外の関わりは殆ど ない	・本人が外部との接触や関わりを持つこと はほとんどない。 ・歌声サロンの参加ありがとうございます。他にも薬局で出来ることがあればお 声かけください。 ・可能であれば地域の方々との交流の 機会があれば利用者の刺激になります。 ・施設内で過ごすことが多くなっているた め、近隣住人や地域の中で過ごせるよう 施設の取り組みを工夫して行って欲しい。		向かいのスーパーで餅つきをしてい ることがわかり急遽見学に行った。 こういうスーパーでのイベントなども 地域との交流として貴重な機会。地 域でのイベントに参加出来るよう今 後は工夫や体制を整える必要があ る。刺激のある生活を送って頂くた めにも努力していきたい。
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員 や地域の人々と親しみ、安心の 日々、よりよい日々をおくることができ ている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の方々との交流はあまりな いが、職員や家族様、他の利用 者様に見守られながら、寂しい思 いをせずに安心して楽しい生活を 送って頂いている。	・周囲に見守られて安定した生活が出来 ている。 ・職員の方々には利用者にとりかかり 添おうとされていると思います。 ・地域への認知症理解の促進、啓発にな るのではと考えます。 ・表情が穏やかになっていると思いま す。	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている (5名) C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族から穏やかに過ごしているとの言 葉を頂き嬉しく思う。そういう声が増える ようケアを継続していきたい。一番の課 題はボランティアや地域との交流を増や して行く事。来年度は良い評価が出来る よう努力していきたい。ご家族との交流 もとても大切なため、面会時には入居者 様の様子を沢山伝えてあげて欲しいと

					<p>・本人のみならず、家族の方たちも安心できる環境を作り、地域との交流を持ち、日々楽しく過ごせるような支援を継続して欲しい。</p>		<p>職員に伝えている。良くなかった評価は今後上がるように、良い評価はこのまま下がらないように職員皆で心がけたい。</p>
--	--	--	--	--	---	--	---